

森林セラピー基地整備事業（青森県深浦町）

事例の概要（事業名：森林セラピー基地整備事業）

世界自然遺産白神山地のふもと「津軽国定公園十二湖」地域を森林セラピー基地に整備することで、新たな観光資源としての魅力向上と誘客促進による地域振興を図る。

事例の内容

事業主体：深浦町

事業内容：森林セラピー基地認定に向け、フィールド生理・心理実験を実施する（H24）。

また、町内自然ガイド団体及び関係者で先進地視察を行う（H23～H24）。

取組経過：平成22年11月 先進取組事例を視察（秋田県鹿角市）

平成24年1月 森林セラピー基地認定申請

3月 基地認定候補にノミネート、先進取組事例を視察（東京都奥多摩町）

平成24年8月 フィールド生理・心理実験（都市部：弘前市、森林部：十二湖）（予定）

平成25年4月 森林セラピー基地認定（予定）

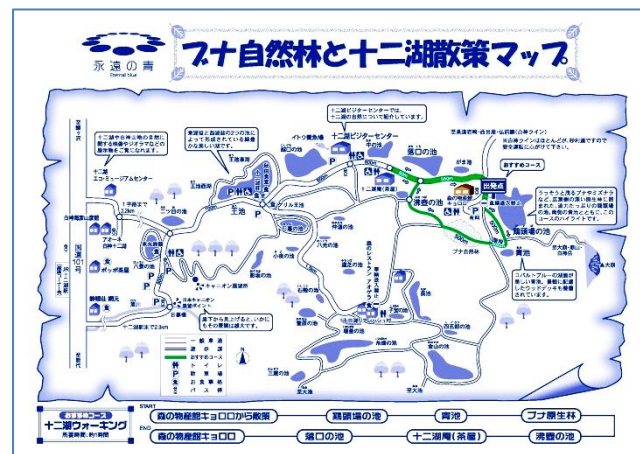
事業費：平成23年度 0.8百万円（うち過疎債0.8百万円）

平成24年度（見込） 6.8百万円（うち過疎債3.6百万円）

＜森林セラピーガイド（イメージ図）＞



＜十二湖森林セラピー基地（仮称）エリア図＞



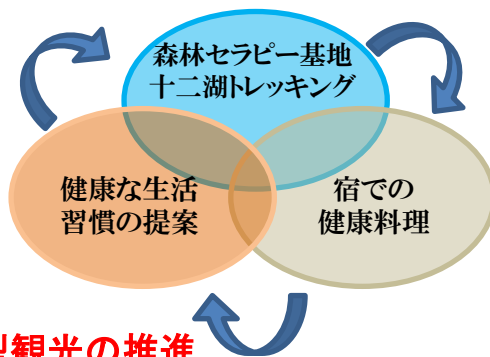
ポイント

事業全体イメージ：「自然」「食」「健康」プロジェクトの展開

自然・・・森林セラピー基地十二湖をフィールドとしたセラピープログラム提供

食・・・旬の地域食材を活用した健康料理の提供

健康・・・心身の健康習慣の提案



森林セラピー基地を核とした健康増進型観光の推進

～森林セラピーとは～

森林セラピーとは、癒し効果が科学的に検証された「森林浴効果」をいいます。世界自然遺産白神山地のふもと「十二湖地域」の豊かな森に触れることで保養効果を高め、心身の快適性向上を目指します。